

2006年3月期 決算説明会

今期(2007年3月期)の経営施策

2006年5月15日

取締役社長 関 誠夫



千代田化工建設株式会社

# 目次

1. DSP (ダブル・ステップアップ・プラン) 2008の現況
2. マーケット環境: 世界のエネルギー需給  
原油の重質化 / 需要の軽質油化への対応  
天然ガスシフト急拡大: LNGプラント需要
3. 最近のリスク要因とその対応
4. 内部統制システムの継続的改善への取り組み
5. まとめ: Reliability No.1 , 収益成長企業を目指して

# 1 DSP (ダブル・ステップアップ・プラン) 2008の現況

## 経営ビジョン

Reliability No.1 プロジェクトカンパニー

収益成長型のエクセレントカンパニーを目指して



DSP2008の事業計画は前倒し、上振れで進行。次の4つの戦略について施策を展開中

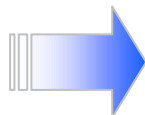
### < 経営戦略 >

### < 現況: 進捗状況 >

S1

技術優位性を活かした事業展開

- Plant Lifecycle Engineeringの推進による  
顧客との永続的な関係構築 -



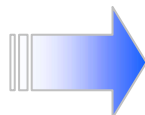
・ Reliability Programの推進

Engineering Criticality Study、 Technical Cold Eye Review

S2

グループ総合力を活かした

Smart EPCの推進による  
プロジェクト遂行力の更なる強化



・ リスク管理能力の強化

・ 先進的ITの強化(特に工事IT、調達IT)

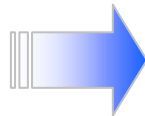
・ GES強化: フィリピン設計会社 : 100%子会社化

・ Lessons Learntの活用 / Knowledge Managementの推進

S3

次世代のビジネス創造に備えた

恒常的に健全な財務体質の確立



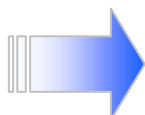
・ 株主資本の充実

・ License Saleの高収益化と選択的な技術投資

S4

活気に溢れた

組織風土づくりと人材育成



・ BSC統合マネジメント

・ プロフェッショナル人材の採用継続(5,600人体制)

・ 再雇用によるベテランの活用と技術伝承

BSC : バランス・スコアカード経営管理手法

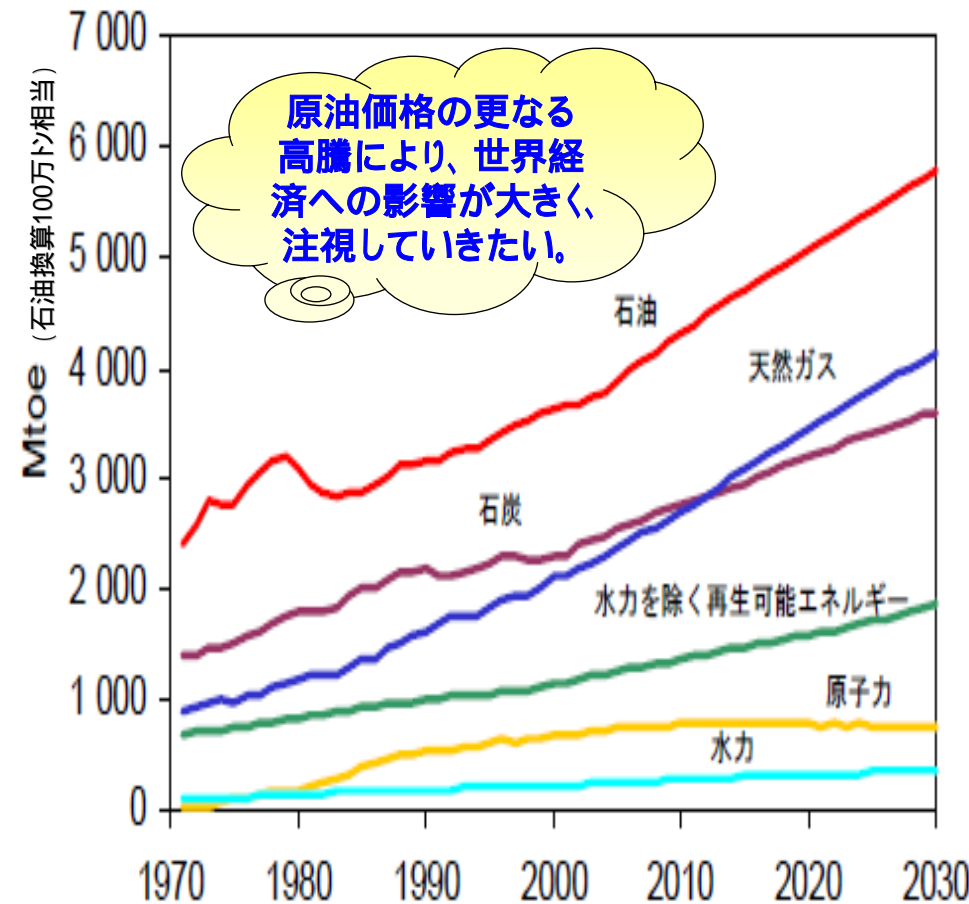
# 世界のエネルギー需給:エネルギー確保の大競争時代へ

## プラント・エンジニアリング市場は引き続き活況

<世界のエネルギー需要の見通し(IEA)>

出典: IEA / World Energy Outlook2004

= 当社のマーケット見通し =



### 石油 : Deliverabilityの問題

Availability Deliverabilityの問題  
Refineryへの投資強化: 超大型Refinery案件  
Chemical Refinery Integration: 増設、新設  
重質油の軽質化: 残渣油処理 (RFCCなど)  
和製メジャー

### 天然ガス : ガスシフトが急拡大

世界的なLNGブーム  
随伴ガス利用の大型ガス・ケミカル  
新クリーン・エナジー: GTL等の市場成長

### 石炭 : 重要な発電燃料

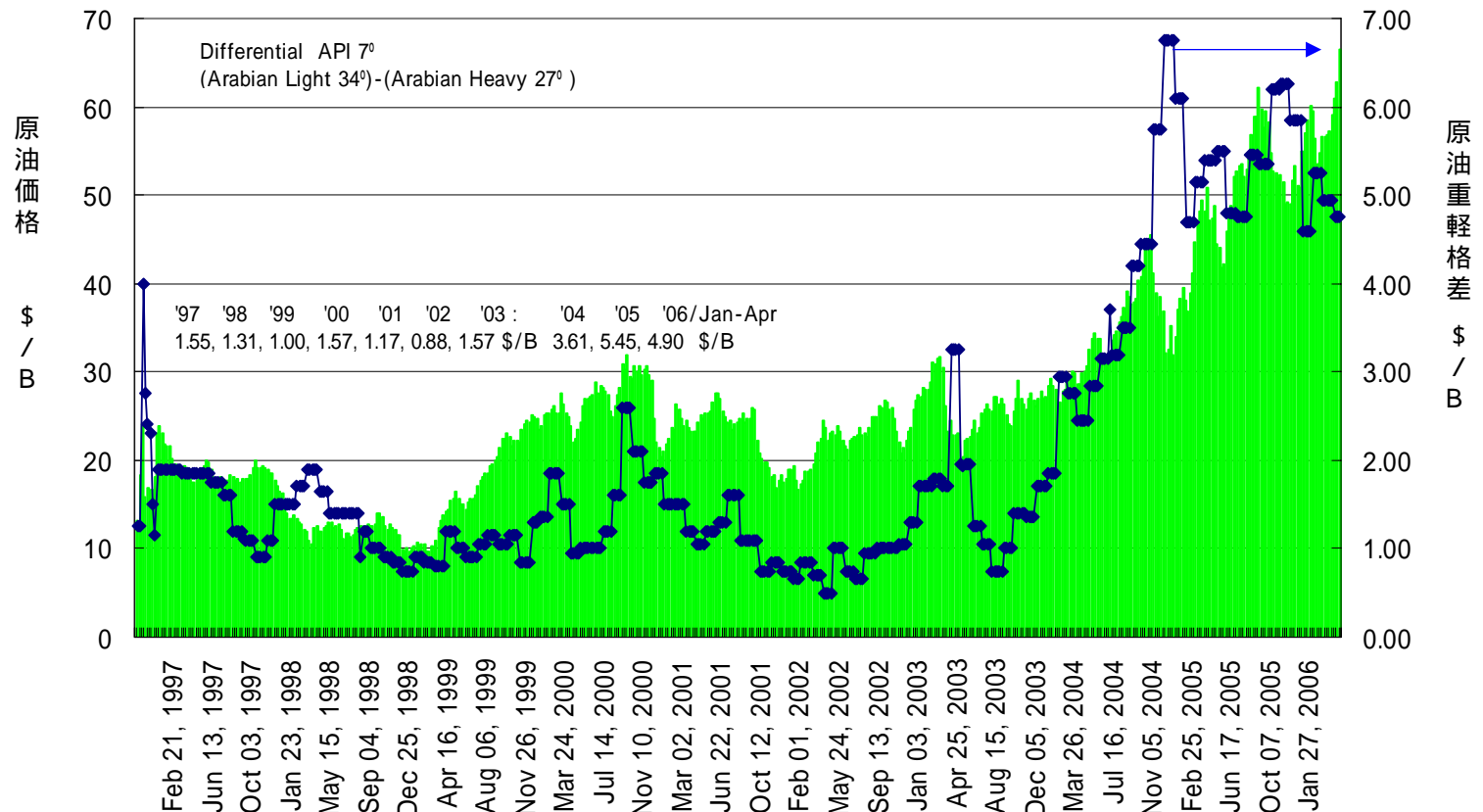
石炭需要拡大と環境規制強化  
排煙脱硫需要拡大  
ビジネスモデルの変革  
CT121ライセンス・セールス  
クリーン・コール・テクノロジー: 石炭ガス化等

# 原油の重質化 / 需要の軽質油化への対応

- ・原油価格は、高値圏で推移
- ・原油重軽格差の拡大: 原油価格の動きに連動

⇒

- ・重質油分解装置の導入
- ・ボトムレス化、高度化による製油所の効率化



原油重軽格差の拡大: Arabian Light/Heavy

Source: EIA Spot price FOB

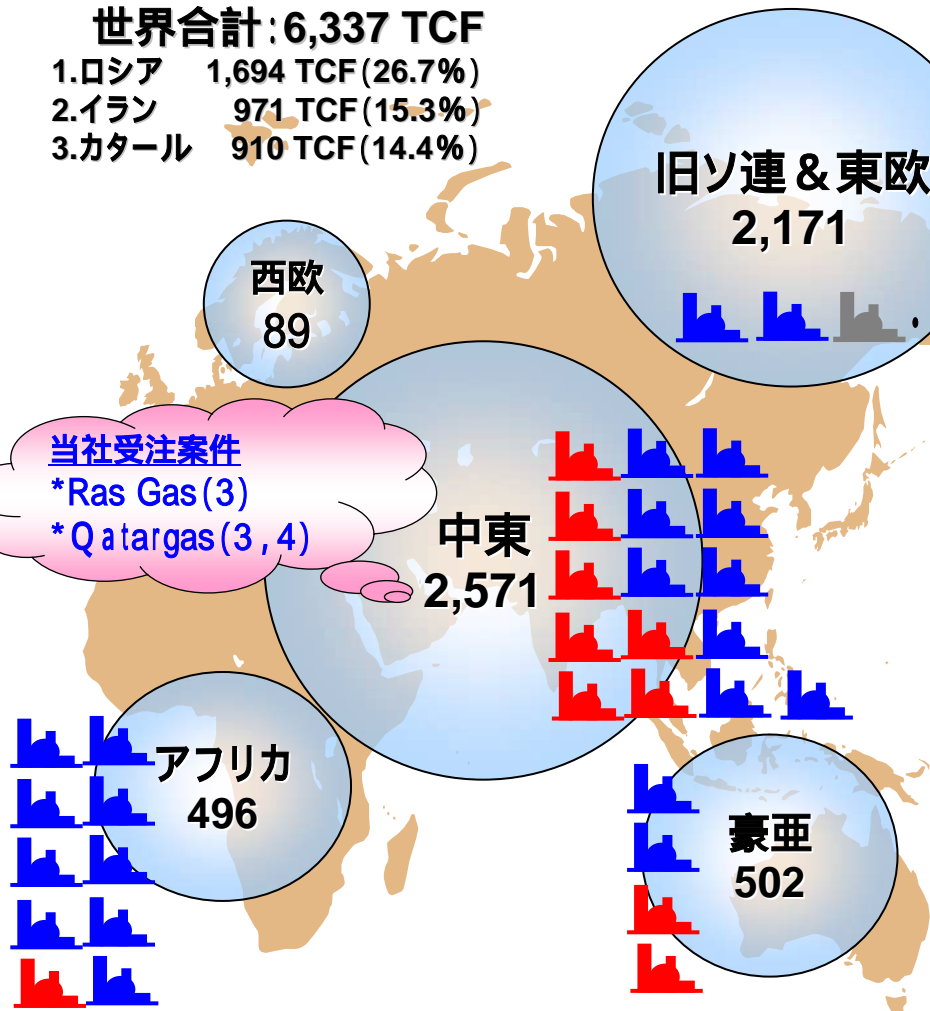
# クリーンエネルギー：天然ガスシフト急拡大

## 天然ガス確認可採埋蔵量：

BP Statistical Review of World Energy 2005

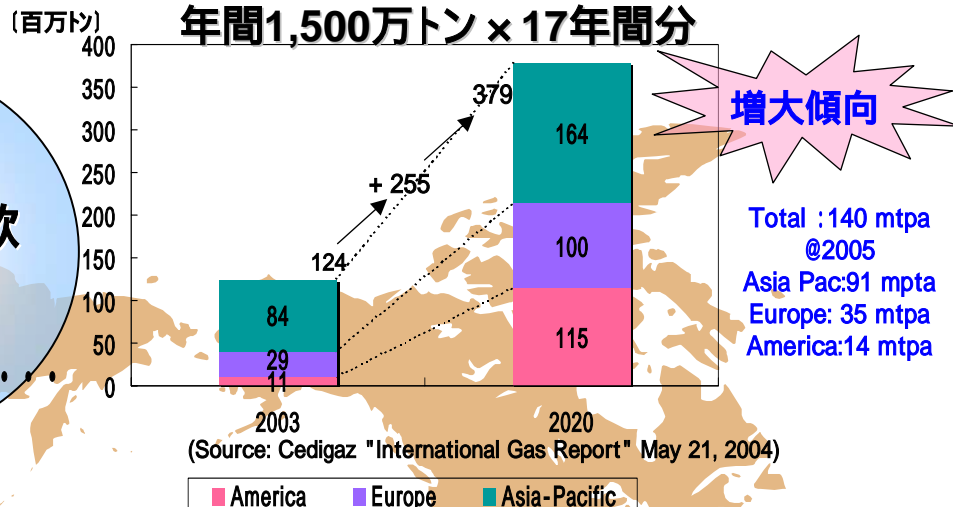
世界合計：6,337 TCF

- 1.ロシア 1,694 TCF (26.7%)
- 2.イラン 971 TCF (15.3%)
- 3.カタール 910 TCF (14.4%)



## LNGプラント需要：

年間1,500万トン×17年間分



## LNGプラントの建設計画：

1億8,100万トン

@2005年4月現在

: 500万トン×36トレイン分

: 当期に発注された案件

# 最近のリスク要因とその対応

- 素材の高騰、資機材の高騰(銅、ニッケル、亜鉛の素材価格の上昇が、ケーブル、SUS材、亜鉛メッキの上昇へ)

## 早期手配・早期発注、契約条件への反映、お客様との相談

- 長納期品の確保(圧力容器、熱交換器、圧縮機のコスト上昇圧力、納期遅延リスク、品質低下リスク)

## ベンダーとの早期・長期コミットメント:品質・納期管理の強化へ(調達拠点の強化:韓国、イタリア)

\* ファブレスショップチーム(旧工場熟練者)の豊富なモノづくり経験からの品質管理

- 熟練工の人件費アップ、サブコン手持ち工事満杯

## パートナーとの関係強化、工事IT強化など

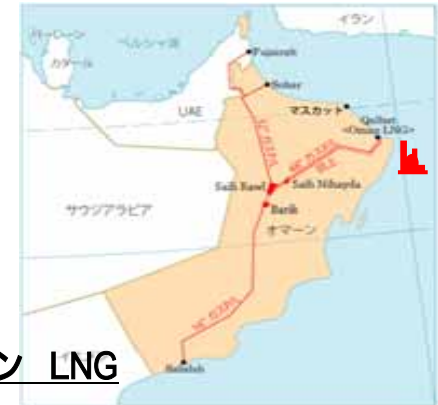
- 不確実性の増大へ リスク管理の一層の徹底



- 短納期達成
- フローレス・スタートアップ  
(トラブルのない運転開始)
- オマニゼーション(オマーン人雇用比率)
- 38ヶ月間無事故・無災害を達成

安全、納期等の全て事項について、厳しいシェルの  
総合評価KPIで97.5と非常に高いポイントを得た。

Reliability No.1への  
確信の第一歩



### オマーン LNG

LNG生産規模: 合計1039万ト/年

330万ト/年 × 2系列

(672万ト/年、2000年2月竣工)、

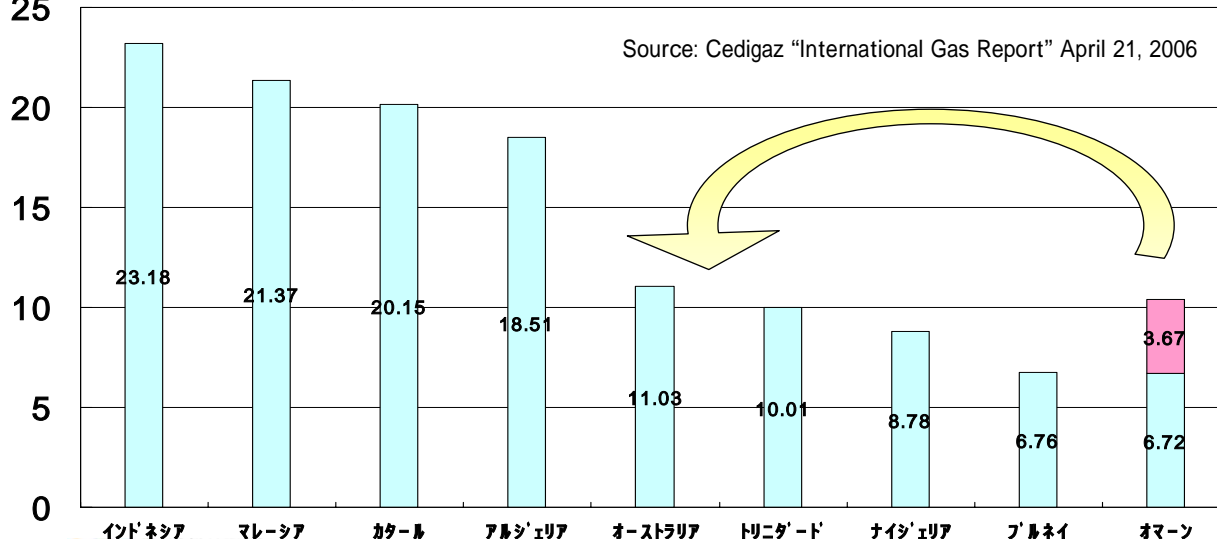
生産開始: 2000年2月 ~

【世界第9位のLNG輸出国@2005】

### Qalhat LNG (3系列)

(367万ト/年、2005年12月竣工)

LNG輸出量: 百万ト/年@2005





透明性の高い経営をめざし、

- リスク・マネジメント、Cold Eye Reviewとの統合
- 2003年度より、経済産業省「リスク新時代の内部統制の指針」への対応を実施。
- バランス・スコアカード(BSC)統合マネジメント
- 業務プロセスの改善・変革、組織の成熟度の向上
- 内部統制の自己評価

新会社法対応：内部統制運営委員会の設置  
企業の社会的責任(CSR)の徹底・推進

## 5 まとめ: Reliability No.1、収益成長型企業を目指して

DSP2008の初年度は、順調に進捗できた。2年度は、「**慎重に加速**」し、成果をしっかりと収穫する年としたい。

### 1. Reliability No.1実証のためのプロジェクト遂行

- カタール 3 Large LNG ・国内石油大型案件の成功
- ダブルチェックの徹底
- Customer's Success through Reliability No.1  
(全社意識改革)



### 2. DSP2008達成に向けた施策展開

- 具体的目標の早期達成へ

【お問い合わせ先/Contact】

千代田化工建設株式会社

〒230-8601 横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号

広報室長兼IRマネジャー 村田 卓弘

IR Manager Takuhiro Murata

TEL 045-506-7538

FAX 045-506-7085

携帯 090-3348-3484

e-Mail [tamurata@ykh.chiyoda.co.jp](mailto:tamura@ykh.chiyoda.co.jp)

URL <http://www.chiyoda-corp.com/>

この資料には、2006年5月15日現在の将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。